

## トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年9月9日～2017年9月15日までの推移】

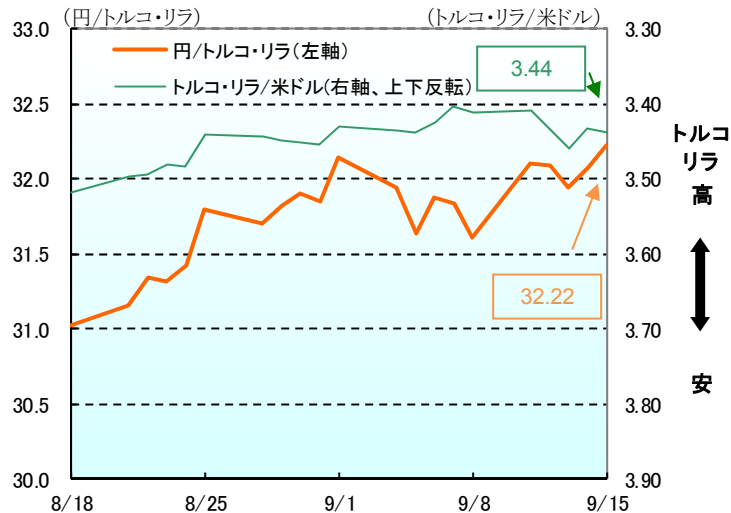
### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドルで下落した一方、対円では円安の進展から上昇しました。またトルコの2年国債金利については、ほぼ横ばいでの推移となりました。2017年第2四半期のGDP(国内総生産)成長率は、前年比で+5.1%と市場予想をやや下回りましたが、内需を中心とした堅調な成長を続けていることが確認されました。金融政策委員会では、市場予想通り、現状の政策金利が維持されました。中央銀行は、インフレ見通しが改善するまで引き締め気味の金融政策を維持する旨を示しました。トルコ・リラは、米国の利上げ期待を背景に米ドル高が進展し、対米ドルで下落しました。また債券市場では金融政策の据え置きが、市場で広く予想されていたこともあり、小幅な値動きとなりました。

### 【2】今週の見通し

今週は特段重要な経済指標の発表は予定されていません。トルコの個別材料は乏しいものの、米国で予定されているFOMC(米国連邦公開市場委員会)に注目が集まりやすいと考えます。市場では政策金利の据え置きが見込まれる一方、バランスシートの縮小開始が予想されています。米国の金融政策の正常化が緩やかなペースにとどまる限りにおいては、トルコ金融市場への悪影響は限定されると考えます。

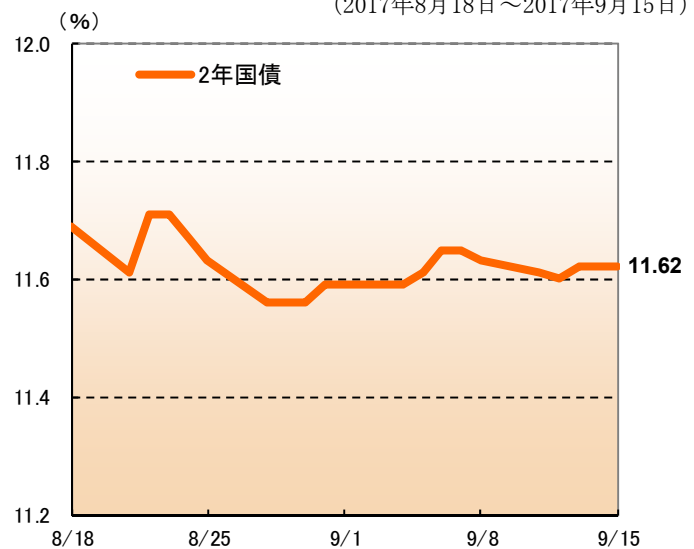
【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年8月18日～2017年9月15日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】

(2017年8月18日～2017年9月15日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>